

平成27年10月29日

各位

会社名 株式会社ミスターマックス
代表者名 代表取締役社長 平野 能章
(コード番号 8203 東証第一部、福証)
問合せ先 取締役執行役員財務部長
中野 英一
(TEL 092-623-1141)

平成28年3月期中間・通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成27年5月14日に公表した平成28年3月期の中間・通期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想について

(1) 平成28年3月期 第2四半期累計期間の業績予想数値の修正 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 56,500	百万円 150	百万円 160	百万円 75	円 銭 2.26
今回修正予想 (B)	60,100	880	890	600	18.09
増減額 (B - A)	3,600	730	730	525	—
増減率 (%)	6.4%	486.7%	456.3%	700.0%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	55,806	△317	△284	△240	△7.25

(2) 平成28年3月期 通期の業績予想数値の修正 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 115,800	百万円 500	百万円 520	百万円 280	円 銭 8.43
今回修正予想 (B)	119,400	1,240	1,260	800	24.10
増減額 (B - A)	3,600	740	740	520	—
増減率 (%)	3.1%	148.0%	142.3%	185.7%	—
(ご参考) 前期通期実績 (平成27年3月期通期)	114,262	△876	△783	△2,982	△89.84

(3) 修正の理由

消費税増税に伴う消費減退が回復基調にあることや、8月上旬の猛暑により季節商品が順調に売上を伸ばしたこと、販促キャンペーンが好調に推移したことなどの理由で、第2四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は当初見込み99.4%に対し、105.8%と見込みを大きく上回りました。一方、利益面では、消耗品費や水道光熱費・人件費などの経費削減について先行して進めることが出来たことで、営業利益、経常利益、四半期純利益についても予想を上回る見込みです。以上の結果として、営業収益は601億円（前年同期比7.7%増）、経常利益8億90百万円、四半期純利益6億円と増収増益となる見込みです。

なお、通期の業績予想につきましても、第2四半期累計期間の業績が当初の計画以上で推移していることを勘案し、併せて上方修正することといたします。

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成27年5月14日発表)	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 未定
今回修正予想	—	0.00	—	5.00	5.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成27年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(2) 修正の理由

当社は、配当の継続を重視しており、会社の経営成績及び財政状態並びに今後の見通し等を総合的に勘案しながら、平成28年3月期末での復配を目標にしたうえで、配当予想については未定としておりました。

第2四半期累計期間の状況より通期の業績見込みの確度も高まったことから、期末配当予想を5円とさせていただきます。

(注) 本資料における業績予想は、当社の本資料発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって本資料記載の業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上